

平成22年4月28日

阿部野橋ターミナルビルタワー館（仮称）内

「あべの美術館（仮称）」計画の特別顧問にみのゆたか 蓑 豊 氏を招聘

～誰もが気軽に芸術・文化を体験し楽しめる都市型美術館を目指します～

近鉄では現在、平成26年春の完成を目指し建設中の阿部野橋ターミナルビルタワー館（仮称）内に、「あべの美術館（仮称）」を設置する計画を進めています。この度、「あべの美術館（仮称）」計画の推進に当たり、美術館業務に精通し数々の運営実績をお持ちの蓑豊（みの ゆたか）氏を、特別顧問として招聘いたしましたのでお知らせします。

蓑氏は、シカゴ美術館東洋部長、大阪市立美術館館長や金沢21世紀美術館館長など、数々の要職を歴任され、この4月から兵庫県立美術館館長に就任されています。これらの豊富な経験を基に、展覧会の企画検討に対する助言・提案や、国内外の展覧会関係者への出展交渉・協議等に協力を頂き、「あべの美術館（仮称）」の設置・運営計画について専門的見地から総合的に関与していただきます。

「あべの美術館（仮称）」計画では、アベノ・天王寺地区において、ターミナル立地という高い利便性を生かし、新たな都市魅力の創造に資する「誰もが気軽に芸術・文化を体験し楽しめる都市型美術館」を目指してまいります。



蓑 豊（みの ゆたか）氏



「あべの美術館（仮称）」エントランス イメージパース

詳細

1. 袁 豊（みの ゆたか）氏の略歴等

- (1) 生年月日 昭和16年10月23日(68歳)
- (2) 出身 石川県金沢市
- (3) 略歴
- | | |
|-------------|------------------------|
| 昭和40年 | 慶應義塾大学文学部哲学科美学美術史専攻 卒業 |
| 昭和52年 | ハーバード大学文学博士号取得 |
| 昭和51年～52年 | モントリオール美術館 東洋部長 |
| 昭和52年～59年 | インディアナポリス美術館 東洋部長 |
| 昭和59年～60年 | 武蔵野美術大学講師 |
| 昭和60年～63年 | シカゴ美術館 中国・日本美術部長 |
| 昭和63年～平成6年 | シカゴ美術館 東洋部長 |
| 平成8年～平成19年 | 大阪市立美術館 館長 |
| 平成13年～平成19年 | 全国美術館会議会長 |
| 平成16年～平成19年 | 金沢21世紀美術館 館長(兼務) |
| 平成19年～平成22年 | サザビーズ北米本社 副会長 |
| 平成22年4月～ | 兵庫県立美術館 館長 |
- (4) 専門分野 中国陶磁器・工芸

2. 当社での役職 ターミナル開発事業本部 特別顧問 (平成22年4月1日付)

3. 「あべの美術館(仮称)」計画の概要

- (1) コンセプト
- ターミナル立地にふさわしい、誰もが気軽に芸術・文化を体験し楽しめる都市型美術館
- 収蔵品を所持せず、国内外の展覧会関係者との連携による巡回展を誘致
様々なテーマの巡回展のほか、「当社沿線の文化財」に焦点を当てた自主企画展
など、ジャンルにとらわれず「多彩で魅力のある展覧会」を開催
国宝や重要文化財の展示も可能な本格的施設
- (2) 施設概要
- | | |
|------|--|
| 場 所 | 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
阿部野橋ターミナルビル タワー館(仮称)16階 |
| 施設構成 | 展示室、ミュージアムショップ、ミュージアムカフェなど |
| 展示面積 | 約1,000㎡(整形部分 約830㎡) |
| 開館予定 | 平成26年(2014年)春頃 |

以 上